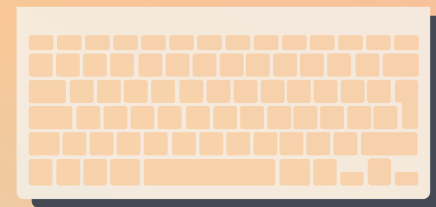


総合ガイド

ビギナー用のMac

管理



最近の調査によれば、企業組織の半分以上は現在、仕事にどのタイプのコンピュータを使用するかを選択する権限を従業員に与えています。

選択の自由が与えられている組織では、72%の従業員がMacを選んでおり、28%がPCを選びました。**

世界のビジネスシーンや教育の現場でApple製デバイスの利用数が伸びているため、企業がMac、iPad、iPhone、Apple TVの能力を全て引き出すために技術投資を最大化するのは不可欠なことです。続々と出てくる新デバイスを管理しなければならないIT担当者にとっては大変な重荷となりかねません。特に、Windows環境にいらっしゃる方々には。

Apple商品をよくご存知の方も多くいらっしゃいますが、MacハードウェアとmacOS管理に初めて着手する方も多いはずです。初心者の方々のために、本ガイドでMac管理スキルを構築、習得するお手伝いをいたします。

(**2018 調べ: 従業員エクスペリエンスでのデバイス選択の影響)



MacとmacOS管理
の基礎

3ページ



Mac用に利用可能な
サービスとプログラムの説明

5ページ



ライフサイクル管理ス
テージの概要

7ページ



インフラ計画のイン
サイト

20ページ



業界をリードするMac
管理ソリューションの
概要

21ページ



MacとmacOS への導入 管理

Mac管理のアプローチの際には、ライフサイクルを今後自分が行う共通作業に分類すると役に立ちます。こうした管理作業はMac、PCのいずれを管理するにしても同じことです。

MDM の役割

内蔵のモバイルデバイスマネジメント (MDM) のフレームワークのおかげで、OS X 10.7 Lion以降が導入されると、Macコンピュータはリモートワイプまたはパスコード制限などの設定を理解し、実行することができます。MDM フレームワークの中心的な二つのコンポーネントは、構成プロファイルと管理コマンドです。

この二つのコンポーネントはAppleのプッシュ通知サーバー (APNS) を経由してデバイスとつながります。Appleから安全証明書を取得すると、あなたの企業でAPNSがプライベートなものになります。そして、Appleのサーバーはデバイスに常時接続された状態になるため、あなたが常時接続する必要がなくなります。デバイスはあなたの管理サーバーにつながり、あなたが定義したコマンド、設定、コンフィギュレーション、アプリを受け取ることができます。



構成プロファイル

...とは、様々な設定をあなたのApple製デバイスに定義し、どのように機能するか、デバイスに伝えるものです。これはパスコード、Wi-Fiパスワード、VPNコンフィギュレーションの自動設定に利用できます。また、Apple Storeやウェブブラウザ、デバイスの名前変更などデバイス機能のアイテムを制限するためにも利用されます。Jamf Pro(ジャムフプロ)といったMDMソリューションの導入によって、こうしたプロファイルのすべてを特定してデプロイすることができます。



管理コマンド

...とは、「MDM commands」として呼ばれ、特定のアクションを取るように、管理しているデバイスに送信することができる単一のコマンドです。デバイスを紛失しましたか？紛失モードにするか、リモートワイプコマンドを送信します。OSのアップグレードが必要ですか？ダウンロードとアップグレードのインストールを送信します。これは、完全に管理されたMacコンピュータで行うことができるアクションの例です。



MDMとクライアント管理

Appleの MDMフレームワークはMacコンピュータに関して基本的な制御を提供する一方で、macOSは、さらに高度な機能を必要となるiOSまたはtvOSより強固なプラットフォームです。(macOSのみ利用可能な)クライアント管理を活用すると、Macエージェントまたはバイナリをインストールすることができ、すぐ後にデバイスが管理下に加わります。

このエージェントによって、非表示のアドミアカウントが追加され、macOSへのルートアクセスによる遠隔操作が可能となり、コンピューター上で実行されるより多くのポリシーやスクリプトへの扉を開けます。エージェントベースのMac管理は、内蔵されたMDMを超えるため、より高度なMac 管理を最大限に利用するためには、Jamf Proのような第三者ソリューションが必要となります。

クライアント管理機能の例:



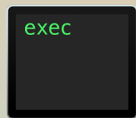
PKG/DMGのインストール



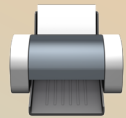
FileVaultの実行



ディレクトリへのバインド



スクリプトの実行



プリンターのインストール



アカウントの作成



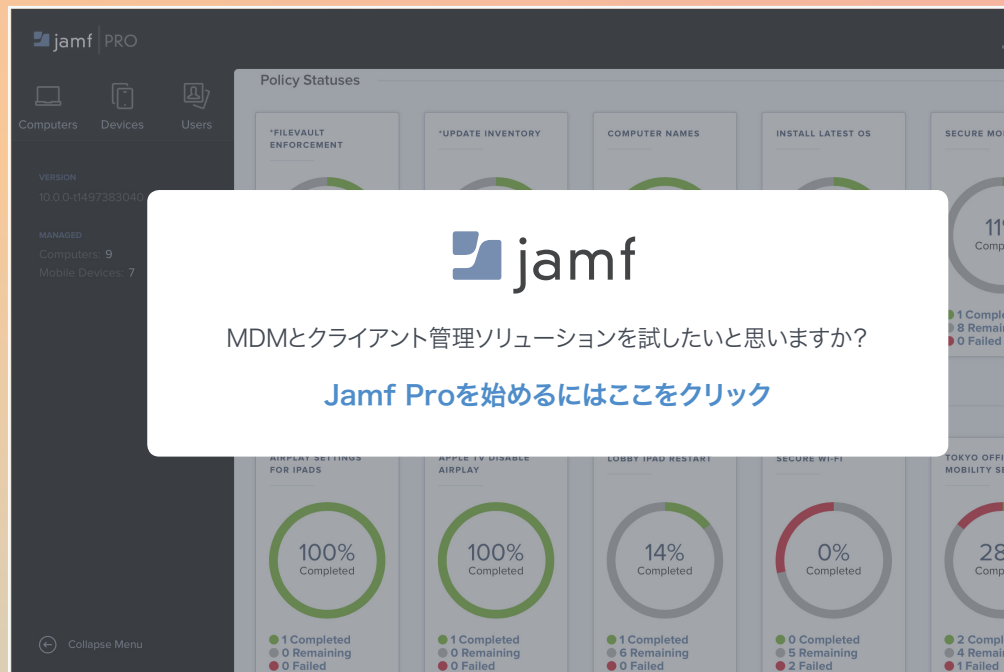
ソフトウェア更新の設定



ドックのカスタム化



EFIパスワードの設定





Appleサービスとプログラム

Macコンピュータはビジネスや教育の場で人気が高まるにつれて、どの規模でデバイスをデプロイするのが最適なのか、Apple IDおよびアプリの購入をどのように実行するべきかといった取り組むべき問題が増えました。当然、Appleは問題解決に取り組み、様々なプログラムとサービスを紹介し、より簡単に経済的にデバイスを一括で管理してデバイスマネジメントをもう一歩発展させました。Apple デバイスマネジメントソリューションがすべて Apple プログラムとサービスをサポートするわけではありません。年間を通じてAppleが行っている斬新な変更と同様に、こうしたプログラムをベンダーがサポートしているか確認してください。



Appleのデプロイメントプログラム

Appleには、全ての組織がゼロタッチ導入し、アプリやブックを展開するのに必要なサインアップによる管理プログラムがあります。すべてが単一のウェブポータルから導入できます。教育機関の場合、サインアップしデバイスを登録し、Apple School Manager内でアプリやブックを直接展開できます。企業または教育機関以外の場合、deploy.apple.com にサインアップし、デバイスを登録してからアプリを展開できます。



ゼロタッチ導入

「Device Enrollment Program」または「DEP」としても知られる、この自動化された導入プロセスにより、AppleまたはApple認定再販業者から購入したMac、iPad、iPhone、Apple TVの設定が可能となり、あなたのユーザー向けに、デバイスに直接触ることなく、デバイスごとにカスタマイズすることができます。DEP 導入により、エンドユーザーに対して素晴らしいゼロタッチ経験を提供することができます。簡単です、箱を開けてデバイスの電源を入れれば、もう利用できます。



アプリとブック

Appleからのアプリとブック（以前は「Volume Purchase Program」または「VPP」）を使うと、Appleからアプリやブックを一括購入したり、権限を与えたりすることができ、Apple ID経由で配布したり、Apple IDなしでデバイスに直接配布したりできます。アプリは、デプロイメントが変更を必要とするため、再度割り当てることができます。（Apple から受け取った）アプリとブックのアカウントトークンをApple管理ソリューションにリンクして、割り当てや配布に使うことができます。



Apple ID

Apple IDは個人アカウントで、ユーザーはApp Storeや iTunes Store、 iCloud、 iMessage 等のAppleサービスにアクセスするために使います。組織のニーズ次第で、エンドユーザーは自分のApple IDを仕事で活用できますが、Apple IDと一緒に使わないようにすることもできます。教育関係者の方の場合、生徒／学生にタイプの異なるApple IDを持たせることもできます(次ページ参照)。



管理対象Apple ID

Apple School Managerにより、教育機関は生徒用の管理対象Apple IDを有効にでき、学校の生徒たちの情報システム(SIS)に統合することができます。管理対象Apple IDが生徒向けの特別なタイプのApple IDとなります。特別な許可を必要とせず、IT管理者としてユーザー情報を作成し、同時に更新することができます。管理対象 Apple IDは、Apple SchoolManager ポータルで作成され、クラスルームデータとあなたの学校のSISと同期させることができます。





ライフサイクル 管理ステージ

Appleのデバイスマネジメントフレームワークとは通常MDMフレームワークとされており、あなたのApple製デバイスのライフサイクル前端を通じて六つの大事な要素を含みます。MDMは、macOS、iOS、tvOSで利用可能な内蔵管理フレームワークであり、次のような機能を搭載しています。

1 Macデプロイメント とプロビジョニング

エンドユーザーにデバイスを譲渡する

2 設定管理

デバイスへの正しい設定を実行する

3 アプリ管理

正しいソフトウェアとアプリが各デバイスにあることを確認する

4 インベントリ

各デバイスの状態を報告する

5 セキュリティ

デバイスを組織の標準に合わせる

6 ユーザー権限委託

ユーザーがリソースとサービスを必要とする際に、自身で解決できるようにする

初期のデプロイメントからエンドユーザーエクスペリエンスまで、あなたの環境におけるデバイスのライフサイクル全体を理解、管理、そしてサポートすることは非常に重要なことです。それを行うことで、Apple製デバイスの安全性を確保し、その可能性を最大限に引き出すことができるのです。



1

Macデプロイメントとプロビジョニング

エンドユーザーのためにデバイスを設定する前に、デバイスはMDMソリューションの管理下に入らなければなりません。登録方法はいくつかありますが、効率的かつ積極的なエンドユーザーエクスペリエンスを求める企業および教育機関には、次で示される二つの方法がお勧めです。

	説明	ユーザーエクスペリエンス	最適
Apple School Manager またはApple Business Managerでゼロタッチ展開	無線での自動登録	ユーザーはパッケージ化されたされたボックスを受け取り、電源を入れると、デバイスは自動的に設定されます。	デバイスをエンドユーザーに送る
URLを使用して ユーザーが開始	無線での手動登録	ユーザーが特定のURLにアクセスして、自動でデバイスを構成する	デバイスは現在、登録が必要な現場にある
イメージング	一連のテクノロジーを、エンドユーザーがコンピュータを準備するための様々な展開シナリオのイメージングに使用できます。	ITは簡単に手動でデバイスを設定し、エンドユーザーに渡します。	イメージングをすでに使用している組織、または余分の時間やリソースで行っている組織。

ベストプラクティス

ゼロタッチ導入



i Appleの展開プログラムを使用することができない場合、組織はこれまでのイメージングワークフロー（ゼロタッチ展開ほど好まれない）またはユーザー指導の登録ワークフローの使用を通してMacコンピュータを設定できます。

2

設定管理

Apple製デバイスの設定はすべて、あなたの思いのままです。あなたのエンドユーザーのニーズに基づき、個人のデバイスまたはグループのデバイスを変更したり、調整することができます。

何から始めましょうか？ここにあるMDMコンフィギュレーションのプロファイルリストをチェックするか、**Jamf Nation** の会話に参加しましょう。



構成プロファイル

構成ファイルを作成して、iOS、macOS、tvOS 内で設定を定義します。小さいXMLファイルは、管理されたソリューションを利用するデバイスに配布できます。Wi-FiやVPN、Eメールの設定にも適用できますし、ユーザーは必要なリソースにシームレスに接続できます。



ポリシー

Jamf Pro での Mac OS クライアント管理に限っては、ポリシーはMDMコンフィギュレーションプロファイルの基本的なデバイスマネジメント機能に勝るもので、カスタマイズされたソフトウェアやプリンターのインストール、ローカルのユーザーアカウントの管理、高度管理ワークフローの実行に役立ちます。



スクリプト

ポリシーの一部として、お使いの顧客管理ソリューション内でのAppleデバイスマネジメント能力を利用するMacOSのシェル・スクリプトを実行します。コマンドラインを経由して端末で実行できることは、全てスクリプトに変わります。スクリプトの実行能力で、標準的な構成プロファイルよりも柔軟性が高くなり、無限のデバイスマネジメント機能を可能にします。



スマートターゲティング

あなたが定義した顧客インベントリ属性を含むインベントリの詳細を集め、管理対象デバイス全てに、どのデバイスがソフトウェアのアップデート、セキュリティ強化、その他の管理行動を必要としているのか認識します。インベントリ基準に基づいてグループを構築すると、特定の個人やグループに対してデバイスマネジメントタスクを自動開始したり、ユーザーが Self Service を使ってアイテムをオンデマンドで利用できるようにします。



すべてのApple管理ソリューションがポリシーやスマートターゲティングを提供しているわけではありません。

この機能が利用可能かを確認するには管理ベンダーに問い合わせてください。

3 アプリ管理

アプリ基本

大半の組織はMac App Storeから、Macソフトウェアを取得します。Appleは、Mac App Store上でデベロッパーのコードを確認し、セキュリティとパフォーマンスを保証します。これは、Appleが安全性に関して高い評価を受けている理由の一つです。しかしMacに関しては、App Store以外からソフトウェアを入手することができます。

Macの App Storeにない人気のタイトルにはMicrosoft Office や AdobeCreative Suiteが含まれます。それゆえ、カスタムソフトウェアのデプロイが可能になるMac顧客管理ツールの存在が重要なのです。Jamf Proのような管理ツールは、インストールのスナップショット前と後を作成することで、カスタマイズした.pkg または .dmg (Macソフトウェアインストールファイルの種類) を構築する能力を持ちます。このソフトウェアパッケージは、ユーザーが管理者を必要とすることなく、管理対象Macにデプロイすることができます。

Apple製デバイスは、細かい設定を必要としないで使える生のコミュニケーション、学習、生産性向上ツールであるため、消費者の間で大変な人気です。しかし、App Storeにある豊富なアプリのライブラリこそがAppleエコシステムを際立たせるものです。お使いのアプリデプロイメントを管理するための所定のデバイスマネジメントソリューションを使って、ユーザーが必要とするアプリがあることを確認します。

あなたの組織がAppleの内蔵アプリか、App Storeから何百万もあるアプリのうち一つ（またはそれ以上）の使用を選ぶか、またはあなたの組織内で作成するかどうか、あなたはユーザーが必要とするアプリが全てあること、そしてあなたの環境内が適切に安全であることを確認する必要があります。



カスタムパッケージ展開

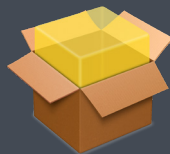
アプリの展開だけでは十分でなく、設定を事前にカスタマイズしたいことがあるかもしれません。これがアプリ設定の前提です。アプリ開発者は、どの設定がMDMサーバーによる事前設定になり得るかをアプリ向けに定義できます。

例えば、あらかじめ用意されたサーバーURLでボックスアプリを展開すれば、ユーザーはユーザー名とパスワードを入力するだけでアプリを取得実行できます。Apple管理ベンダーが、Macコンピュータにソフトウェアカスタマイズをパッケージ化し展開する機能を提供しているかご確認ください。

ソフトウェアのインストールとパッチング



ソフトウェアのインストールのスナップショットをとる



カスタマイズされた .pkg または .dmg を作成する



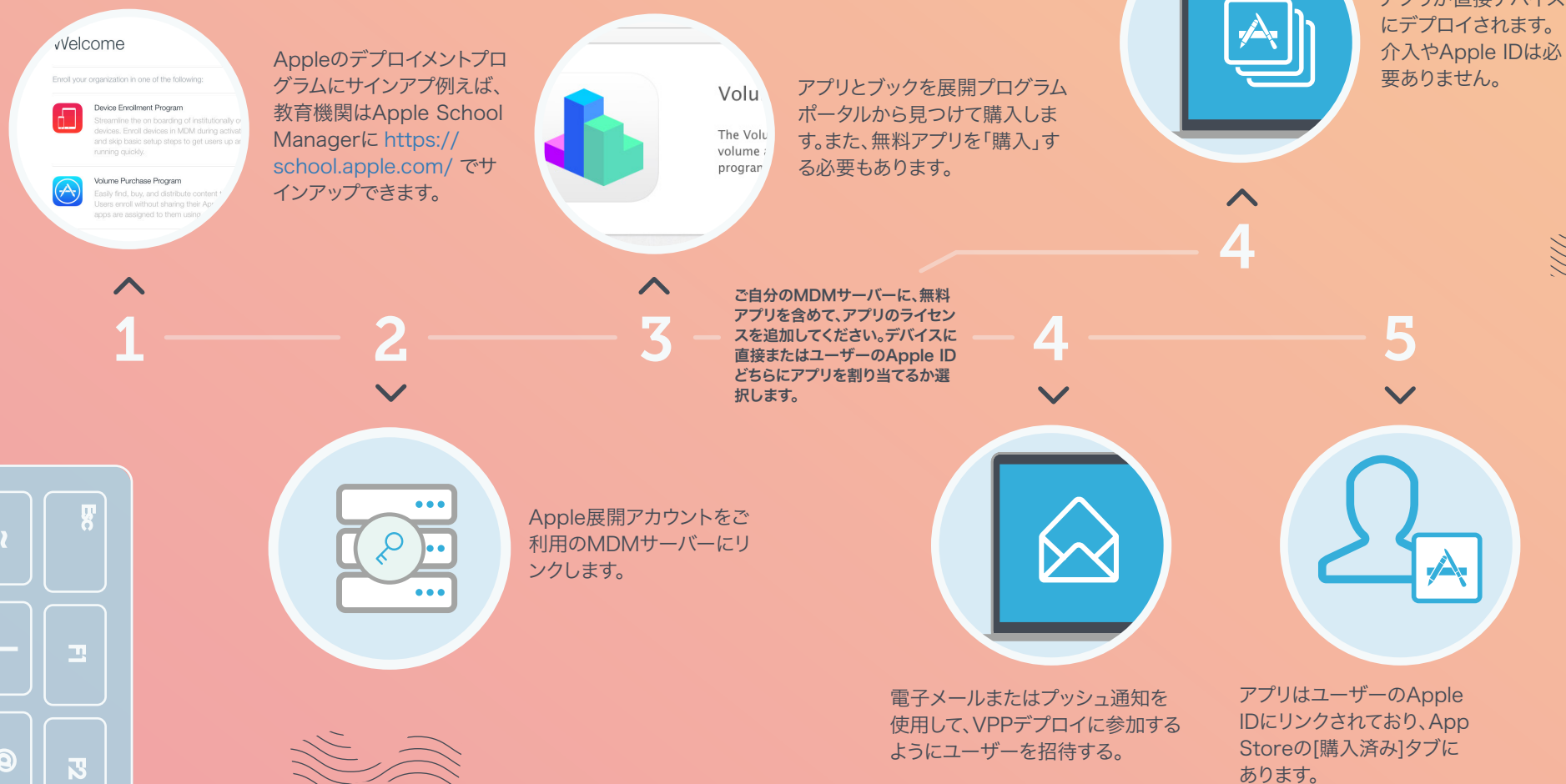
Jamf Agent 経由でインストールをプッシュする

App Storeにあるソフトウェアについては、Appleプログラムを使って、Apple IDを使わずにアプリに使用許可を与え、デバイスに配布できます。

ベストプラクティス

AppleのデプロイメントプログラムによるMacアプリとブックの展開

一括でアプリを購入し、自動的に配布する能力。





4

インベントリ

大量のインベントリデータを収集するため、MDMは、iOSデバイスにクエリを発行し、常に最新のデバイス情報を保持し、管理上の決定を情報に基づいて下すことができます。さまざまな間隔でデバイスからインベントリを収集でき、シリアル番号、iOSバージョン、インストールされているアプリなどを含めることができます。

MDMとクライアント管理機能の両方を使ってApple管理ソリューションで収集されたデータの例。



ハードウェアの詳細:

- デバイスタイプ
- デバイスモデル
- デバイス名
- シリアル番号
- UDID
- バッテリーレベル



ソフトウェア詳細:

- OS のバージョン
- インストール済みアプリのリスト
- ストレージの容量
- 空き容量
- iTunes Storeのステータス



管理詳細

- 管理ステータス
- 監督ステータス
- IPアドレス
- 登録方法
- セキュリティステータス



その他の詳細

- インストール済みプロファイル
- インストール済み証明書
- アクティベーションロックステータス
- 購入情報
- 最近のインベントリアップデート

Esc

F1

F2

F3

F4

F5

F6

~
,
`!
1@
2#
3\$
4%
5^
6

Tab

Q

W

E

R

T

Y

4

インベントリ

インベントリが重要な理由

MDMが収集したインベントリデータは、教育ニーズの広い範囲で使うことができますし、次のような質問に答えることができます。



自社のデバイスがすべて安全か？

これまでいくつのアプリをデプロイしたか？

そのバージョンのmacOSが特定のデバイスで実行されるのですか。

管理ソリューションは特定のハードウェアおよびソフトウェアのアドオンに関する追加（カスタマイズされた）インベントリを集めることまでも可能なのです。例えば、第三者バックアップユーティリティが最後に実行されたのはいつか、またはどのプリンタードライバがインストールされているのかを知ることができます。

Apple管理ソリューションが幅広い取得可能なインベントリを集めるかを確認します。

スマートターゲティング

インベントリデータを活用することで、スマートターゲティングが動的にデバイスをグループ化し、構成プロファイルとこうしたデバイスに対する制限をデプロイすることを可能にします。Jamfでは、これをSmart Groupsといいます。

静的グループ

プロファイル／ポリシーの適応



スマートグループ

8GB RAM、80%のフルハードドライブ、10.12.2以上のMacを見つけてください。



プロファイル／ポリシーの適応

静的グループ V S . スマートグループ

静的グループは、クラスルームまたはラボのように定義されるデバイスのセットのことです。グループ全体に管理ポリシーを適用することができます。

一方、スマートグループは動的で、つねにインベントリデータに基づき変化しています。このため、デバイスを動的にグループ化、構成プロファイル、こうしたデバイスに対する制限をデプロイすることができます。

5 セキュリティ

デバイスのセキュリティおよびプライバシー、企業リソースへのアクセスはどんな組織においても最重要事項です。この課題に取り組むために、AppleにはmacOS、iOS、tvOSに直接組み込まれた数々のセキュリティ機能があります。

MDMソリューションと合わせて、お使いのデバイスが安全だけでなく、アプリおよびネットワークも同様にその安全性を確保します。

macOSセキュリティ機能



macOSセキュリティ機能に関する詳細と、よくあるAppleセキュリティに関する質問はホワイトペーパーをご覧ください。



Appleセキュリティに関する質問の答え

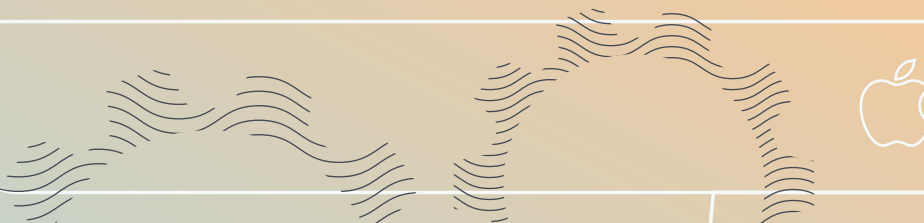


5

セキュリティ

Unix はAppleのオペレーティングシステムの基礎で、その中心にカーネルを提供します。AppleのOSは心に安全をもたらし、類を見ないセキュリティ設定を追加します。こうした設定は MDM ソリューションで管理されます。

さらに、AppleのデプロイメントプログラムをMDMソリューションで活用することで、皆さんの環境内でこうした設定を管理することが可能になります。



5 セキュリティ

macOS用のMDM安全コマンド



- ・ FileVaultの実行
- ・ Gatekeeper設定の実行
- ・ ソフトウェアアップデートの設定
- ・ コンピューターのロック、ワイプ、再起動
- ・ 制限付きアプリの削除
- ・ MDMの削除



Conditional access

典型的な就業時間と職場形態の変化は、現代的で場所にとられない職場環境を作りだしてきました。従業員が職場外、従来の就業時間外で仕事をし、クラウドに保管されたリソースへのアクセスを必要とするようになったため、人材、デバイス、重要なデータを単に「壁」で守るITの時代は過去の物となりました。クラウド組織とコンピュータに選択を提供する組織を調整するには、Macデバイスの条件付きアクセスパスを実行しなければなりません。Windows Azure ADとOffice 365を使用する組織には、最善の組み合わせのApple管理ソリューションが、ビルトイン条件付きアクセス統合を提供します。macOSと条件付きアクセスに関する詳細情報は、MacデバイスのAzure AD認証済みアプリケーションへのアクセスを可能にする、自動化された適管理ソリューションを提供してくれるJamfおよびMicrosoft Enterprise Mobility + Security (EMS)パートナーシップをご覧ください。このコラボレーションは条件付きアクセスを活用し、信頼されたユーザーのみが承認済みアプリを使用して適管理デバイスから会社のデータにアクセスできるようにします。



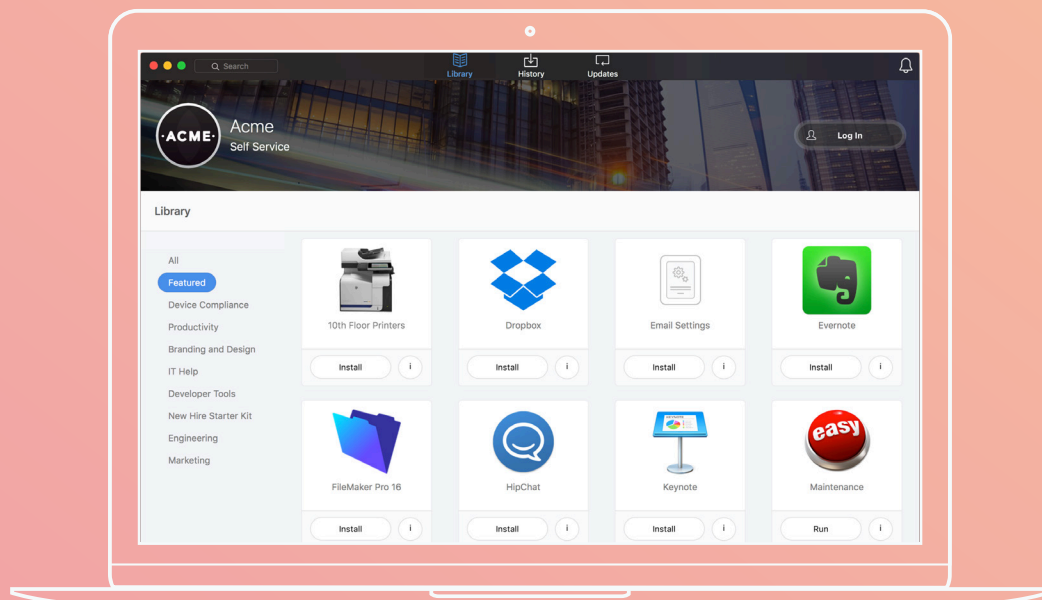
ソフトウェアのアップグレード

macOS、iOS、tvOSの主要なバージョンを毎年開発することで、Appleはイノベーションをリードしてきました。Appleは毎年新しく優れた機能を発表するだけでなく、セキュリティの層を厚くし、脆弱性を克服しています。データを守るためには、社員や生徒がデバイスをこのようなアップデートを実行することは不可欠です。管理ソリューションはAppleからアップデートできる必要があるだけでなく、(できれば使用を開始した日から)商品についてきたすべての新規管理機能を迅速にサポートする必要があります。

ユーザーエンパワーメント(権限委託)とユーザーアドプション

LyftやAmazon Prime、WebMDのような自己解決のために役立つ情報ツールの発展とともに、現代の仕事人は必要なツールを必要な時に利用できることを求めています。企業アプリカタログは、ユーザーがITにヘルプデスクチケットを提出しなくても、手元のデバイスを一回クリックするだけで、信頼できる役に立つリソース、コンテンツ、ティアに即アクセスができるようにします。

Macのアプリカタログ



例:MacおよびiOS向けのJamfセルフサービスでは、組織内リソースまたは企業イントラネットとシームレスに統合することが可能な自社ブランドアプリのカタログを提供しています。

企業アプリカタログとともに、ユーザーは次にアクセスすることができます。

- アプリストア、B2B、社内アプリ、第三者ソフトウェアへのアクセス
- 電子メール、VPN、その他の構成
- E-ブック、ガイド、ビデオ(動画)
- ブックマーク、ショートカット
- プリンターマッピング、ドライバー
- ヘルプデスクチケット、ハードウェアのリクエスト
- パスワードのリセット、コンプライアンス情報
- 基礎メンテナンス、システム診断
- ソフトウェアやOSのアップグレード
- シングルサインオン(SSO)インテグレーション
- 英語、フランス語、ドイツ語、日本語、簡体字中国語への言語翻訳サポート

6 ユーザーエンパワーメント(権限委託)とユーザーアドプション

オンデマンドアプリとリソースカタログの長所

IT 担当者にとっての利点

- ・ 環境制御を維持しつつ、ヘルプデスクチケットとサポート経費を削減できます。
- ・ 管理対象Mac、iPad、iPhone にJamfセルフサービスのようなアプリカタログを自動インストール。
- ・ ディレクトリサービスに統合し、部署、ユーザーの業務、場所などに基づいてコンテンツを個人向けにアレンジ。
- ・ パスワードのリセットやシステム診断などの一般的な IT 処理を自動化してサポートを不要に。

ユーザーにとっての利点

- ・ エンドユーザーはフルサービスかつセルフヘルプで、豊富なリソースの接続先にすぐにアクセスできます。
- ・ 直観的なユーザーインターフェースを現地の言語と環境に合わせて個別設定。
- ・ HR ツール、コミュニケーションプラットフォーム、内部リソースなどの一般的な Web サービスをブックマークして、価値の高い企業情報へのエントリーポイントを簡易化。
- ・ 組織が認めたアプリを IT 部門の助けを借りることなくインストール。
- ・ プリンターのインストールやソフトウェアのアップデートなどの一般的な IT 問題を迅速に解決。
- ・ 利用可能なサービスやセキュリティ強化があればリアルタイムで通知を受信。

最高レベルのMDM ソリューションが、既存の企業リソースと一致するようにあなたのアプリカタログを自社ブランド化することができます。既存の内部プロパティでアプリカタログをシームレスに統合できます。



ボーナス: 第三者インテグレーション

Appleデバイスマネジメントはみなさんにとってテクノロジーポートフォリオの一つにすぎませんが、重要かつ役立つもののなのです。[ServiceNow](#)やOktaのような SSO認証ツールといったヘルプデスクチケットシステムを使っているかどうかにかかわらず、あなたのAppleデバイスマネジメントソリューションは既存のITツールでシームレスに統合される必要があります。

[Jamf Marketplace](#)で見られるような第三者インテグレーションを活用することで、あなたが持つ力を最大限にし、エコシステムのパワーを拡張させてください。エンドユーザーのシームレスで安全なエクスペリエンスを上げることで、業界間のインテグレーションから特定のソリューションまで、こうしたインテグレーションはITチームとサービスの橋渡しをします。



インフラ計画

マネージメント環境をホストするところは、あなたが選択した管理ソリューションと同じくらい重要です。クラウドホスティングがブリーズをアップグレードだけでなく、サーバー管理、災害復旧時のプレッシャーを取り除き、ITが関わらなくてもよくなっています。

これまで以上に多くの組織がクラウドに移行しています。

Eventbrite のような企業団体がクラウドに移行している理由は次の通りです。

クラウドホスティングの利点



サーバーのプロビジョニング、継続的なセキュリティ対策、更新の管理



バックアップの管理とテスト



グローバルな可用性を実現するストレージインフラストラクチャ



災害時復旧のための代替の場所



データベース管理、継続的なセキュリティ対策と更新



サーバー監視と対応チーム



業界トップのAppleマネージメント

IBM、Cisco、SAPなど成長する企業パートナーシップと技術選択プログラムにおけるブームはMac、iPad、iPhone、Apple TVデバイスをもっとみなさんにお届けするだけです。

Appleおよび技術投資を最大限に生かすためには、Appleの直感力と一致し、Appleを手にとったその時から、Appleを使った人が成功するお手伝いが最優先事項であることを証明してきた管理ソリューションが必要となります。

Apple マネージメントの規範として2002年からAppleエコシステムに貢献するJamfは、Appleを提供したいビジネスおよび学校に最も信頼を置かれている商品で、エコシステム全体を通して、継続的な管理エクスペリエンスを提供しています。

すべてのApple製デバイスと統合し、Appleオペレーティングシステムへの即時サポートをすることで、Jamfは必要なサポート全てに取り組むために必要なツールを使って権限と戦略的なタスクに専念する自由を与えてくれます。だからこそ、組織の時間および経費を節約することができるのです。



あなたの組織は、デバイス選択プログラム従業員体験をどのようにして高めることができるかについてもっと学びたいと考えていますか？すぐにJamfにご連絡ください。

[トライアルを開始する](#)

業界最高のApple管理ソリューションの無料試用をぜひお試しください。